

手探りだから楽しい、男性だけの料理活動

活動地域（静岡県掛川市）

男性のプロフィール

氏名：木下 英雄さん

年齢層：高齢者層（60 歳以上）

活動概要：「男子厨房に入る会」会長。妻の留守、病気などに対応するため、自分たちで料理を覚えて妻の手助けをすることを目的として、町内会の高齢男性のみで献立、買い物、調理を行う活動を実践。

活動開始のきっかけ

「夫婦の会話が増えるかも」という期待から参加

全国的に共通する問題かもしれませんが、当地域においても、退職した男性の孤立化が進みつつあるという問題を抱えていました。2 年ほど前にこの問題を何とか解決できないかと、区長をはじめ、町内会の 3 役が集まり、退職した男性の孤立化を防ぐ方法について議論を重ねました。そこから誕生したのが、高齢男性が献立から買い物、調理の全てを、講師を立てることなく実践する「男子厨房に入る会」でした。平成 22 年 4 月、会が発足し、町内会への回覧板を通じて、参加者募集が行われました。

私は、その回覧を見て、参加したメンバーの一人です。参加を決意したのは、誰かから勧められたとか、誘われたとかではなく、「この会に参加すれば、妻との会話の中に料理の話題が加わって、会話も増えるかもしれない」という期待からでした。

私は今、65 歳ですが、私たちの年代は「料理は女性がやるもの」、「料理なんて恥ずかしい」というイメージを持っている男性が多いのかなと想像しています。しかし、私の場合、料理ができることで得られる効果の方を重視しました。例えば、「料理が作れたら、今の暮らしがもっと楽しくなる」、「ある程度、料理が作れば、妻が病気などで家を不在にしたときでも困らないだろう」、「災害が起きた時に料理ができれば、世のためになるはず」など。

このように、料理はこれからの人生の様々な場面で役立つのではないかという期待を持って、「男子厨房に入る会」に加わったのです。

活動の内容

献立、買い物、調理全てを自分たちだけで考え実行

「男子厨房に入る会」は、町内会の自発的、主体的な活動であり、毎月 1 回、第 3 日曜日に開催します。60～70 代の退職した男性が対象で、現在の会員数は 11 名です。私は今、会長を務めていますが、誰がリーダーということもなく、また、役割を設けることなく、皆が同じ立場で料理を楽しみます。食事などの経費は、参加者で割り勘とすることをルールにしています。

会では、献立を考えることから始まります。献立は普段食べるような一般的な家庭料理を中心に考えます。会員の多くは畑を所有していて、自分の畑で採れた野菜などを使って簡単な家庭料理を作りたいことを希望する人が多いからです。

朝 9 時に公民館に集合したら、3 品程度の献立を話し合っって決め、その後、スーパーで食材を購入します。そして、10 時半ごろから料理を作り始め、料理を食します。世間話をしたり、次の会の献立について話し合ったりと、食事の時間が一番盛り上がります。そして、14 時ごろ解散し、終了となります。

料理ができると、妻との会話もはずむ

何しろ料理は初心者ですので、これまで失敗の連続でした。そのような中で、味付けがうまくできたときには、喜びもひとしおですね。料理を指導してくれる講師を呼べば上達も早いかもしれませんが、「自分たちの手でやろう」というのが「男子厨房に入る会」のモットーですし、その方が楽しいと思っています。教わることよりも、挑戦して楽しむことを優先しています。

1年が経過して、一般的な家庭料理はだいたい作れるようになりました。妻も勤めているため、仕事で帰りが遅いときには自分が料理を作ります。妻は喜んでくれますし、料理を話題にしたコミュニケーションが増えました。会に入る前に持っていた期待が、確実に実現できているなと感じています。

周囲との関わり

妻から受ける、料理のアドバイス

「男子厨房に入る会」は、男性だけの活動です。また、講師を立てずに、会員のみで、料理本で研究しながら、「ああでもない、こうでもない」と試行錯誤しながら味付けや盛り付けなどを行っているので、時にはうまくいかないこともあります。そのようなときには、会が終わった後、妻にそのことを話し、アドバイスを受けるようにしています。入会前には、料理について妻と語ることもなんて考えられませんでした。

私も含め、会員は皆、料理経験のない初心者です。だから、「男子厨房に入る会」で作った料理がすぐにマスターできるわけではないので、メンバーたちも自然と、家でおさらいするようになっています。

直面した課題と解決方法

男子厨房仲間を増やすことが課題

「男子厨房に入る会」は今年で2年目ですが、会員は変わらず同じメンバーで、もともと顔見知りなので楽しくやっています。しかし、会員の中には仕事を持っている人も多いため、毎回、会員の半分程度の5~6名程度しか参加できていません。一人でも多くの会員に参加してもらえるよう、電話で呼びかけたり、開催案内を事前配布したりしていますが、思うようにはいかないのが現状です。

また、会員だけでなく、新しく加入するメンバーが少ないことも課題です。町内会の一部の方の参加しか得られていません。入ってみれば楽しさを実感してもらえるという自信はあるのですが、その楽しさがうまく伝えられていないように感じています。地域だけでなく、自分の職場仲間にも加入を勧めるのですが、「よく料理なんてやるな」、「面倒臭そう」といった具合です。

会のさらなる発展と新規メンバーの獲得に心がけ、男子厨房仲間を増やしていきたいと考えています。

これからの展望

仲間とともに、料理の幅を広げていきたい

「男子厨房に入る会」に参加する人がいる限り、私はこの活動を継続していきたいと思っています。男子厨房仲間とともに、さらなる料理のレベルアップを目指していきたいですし、おせち料理など、色々な家庭料理に挑戦し、料理の幅を広げていきたいと思っています。